

# 学生協働支援隊 福富地域 活動報告書

## 【福富小中学校コミュニティスクール導入についてヒアリング】

- ・ 日 時 : 2022 年 3 月 16 日
- ・ 参 加 者 : 合計 6 名（学生 3 名、地域 3 名）
- ・ 活 動 内 容 : 福富中学校にて竹仁自治協兼東広島市役所総務課 間所課長、寺山校長、朝倉教頭から福富中学校にコミュニティスクール導入についてヒアリングした。学校側と地域側は「打ち解けた場」「コミュニケーションが取れる場」を学生に要望しており、テーマ「小中学校魅力アップ」と定めている。開催スケジュール、打合せ日程、参加人数を検討した。

## 【福富小中学校コミュニティスクール導入について打ち合わせ】

- ・ 日 時 : 2022 年 4 月 26 日
- ・ 参 加 者 : 合計 7 名（学生 3 名、地域 4 名）
- ・ 活 動 内 容 : 福富中学校にて中谷校長（4 月就任）、朝倉教頭（中学校）、教頭（小学校）、竹仁自治協兼東広島市役所総務課 間所課長と福富中学校コミュニティスクール導入について打ち合わせを実施。また、第 1 回の開催日時（6 月 13 日 15 時 30 分～）を決定した。中谷校長より今回のコミュニティスクール導入における課題共有してもらった。当初、全 3 回の実施だったが、全 2 回に変更となった。※別紙 1
- ・ 活動の様子 : 写真の通り



打ち合わせの様子

# 学生協働支援隊 福富地域 活動報告書

## 【ファシリテーションの勉強会】

- ・ 日 時 : 2022 年 6 月 14 日
- ・ 参 加 者 : 合計 6 名 (学生 6 名)
- ・ 活 動 内 容 : 福富小中学校コミュニティスクールの導入において、必要な技術と思われるファシリテーションの技術習得を目指し、協働支援員の指導の下、勉強会を実施。テーマに沿い、議論の拡散と収束を意識しながらファシリテーターを体験。メンバーからのフィードバックを貰いながら技術習得と向上を図った。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り



協働支援員による指導



ファシリテーターの体験

# 学生協働支援隊 福富地域 活動報告書

## 【第1回 福富小中学校コミュニティスクール導入】

- ・ 日 時 : 2022 年 6 月 27 日
- ・ 参 加 者 : 合計 33 名（学生 5 名、地域 28 名）
- ・ 活 動 内 容 : 福富中学校にて中谷校長、竹仁自治協兼東広島市役所総務課 間所課長、福富小中学校教職員、学校運営協議会委員、中学生の 28 名と福富中学校コミュニティスクール導入の第1回を開催した。第1回の目的は、参加者同士の交流と、「福富小中学校の魅力発見」をテーマにスローガンを作成するキーワードを選定した。スローガンのキーワードを選定するために、ワークショップを開催し交流をするとともに福富小中学校の魅力について教員・学生・地域の方と共有することができた。次回（9月1日15時30分～）では、今回のキーワードを元にスローガンを作成する。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り



活動の様子



ワークショップの様子

# 学生協働支援隊 福富地域 活動報告書

## 【第2回 福富小中学校コミュニティスクール導入】

- ・ 日 時 : 2022 年 9 月 1 日
- ・ 参 加 者 : 合計 29 名（学生 3 名、地域 26 名）
- ・ 活 動 内 容 : 福富中学校にて中谷校長、竹仁自治協兼東広島市役所総務課 間所課長、福富小中学校教職員、学校運営協議会委員、中学生の 26 名と福富中学校コミュニティスクール導入の第2回を開催した。第2回の目的は、第1回で作成したキーワードをもとにスローガンを決める、決まったスローガンを元に今後のアイデアを考える。スローガンを決定するために、ワークショップを開催し交流をするとともに福富小中学校の魅力について教員・学生・地域の方と共有することができた。またスローガンをもとに今後のアイデアを考えるワークショップでは、教員・学生・地域の方のそれぞれの立場から様々な意見が聞くことができた。決まったスローガン、ワークショップで出た今後のアイデアは下記にまとめる。
- ・ 活動の様子：写真の通り



活動の様子



ワークショップの様子

# 学生協働支援隊 福富地域 活動報告書

## 【福富小中学校コミュニティスクール導入にて出た意見】

### ●スローガン

6 グループに分かれ、各グループで1 つずつ提案。（以下の通り）

- ・ 福に富む源流のまちの“共育”を世界に発信
- ・ 水の流れが福を運ぶ  
心がほっとする福富小中学校
- ・ FST（福富を知る。伝える。福富スクールチーム）
- ・ 福に富む町・人に富む町・自然に富む町  
未来につながる福富町
- ・ 福富をもっと探ってみよう！！
- ・ つながろう！やさしさをシェア・あかるさをシェア

この中から全員が投票し

「福に富む町・人に富む町・自然に富む町 未来につながる福富町」に決まった。

### ●今後のアイデア（各グループから2 つ提案）

- ・ 植林
- ・ 地域と生徒が一緒にできるイベント  
(例：蛍、星空鑑賞)
- ・ 地域の人と生徒と一緒に水源を回るツアー
- ・ ウォークラリー（魅力再発見）
- ・ 探る→ワークショップをもっと広げていきたい
- ・ 発信→CS の組織として発信したい！SNS など
- ・ 町に花を増やす

高齢者に小中学生が花のポットを送るなど

# 学生協働支援隊 福富地域 活動報告書

- ・ 子供と地域の人との居場所、拠点を作る
- ・ 子供マルシェ（アクアフエスタなどでも可）
- ・ みんなで清掃活動
- ・ つながりやを保育などに広げる
- ・ 福富の歴史や文化を知る場の提供

## 【学生の感想】

・ 今回（第2回）、スローガンを決めて今後やることのアイデア出しをするという盛りだくさんの内容だったが無事終われ、また時間の割に良いアウトプットが生まれてよかったと思う。また、自分の担当したグループでは最後の振り返りの時に、「様々な世代の人が地域と学校について考えることで今まで思い付かなかったアイデアが出てきてとても楽しかった」と言っていた人がいて世代の垣根を超えて話すことができた、いい会だったのではないかと思った。

・ 今回（第2回）の目的はスローガンを決めて福富CSに向けてアイデア出しだったが、前回のファシリを上手く繋いでいい雰囲気で行うことができた。ただ、いい雰囲気が故に話がどんどん進んでしまい、ついてこれなくなってしまった人もいたのでそうならないように配慮しなければならなかった。

・ ヒアリングから第2回コミュニティスクール導入まで関わったが、全体を通して中学生・教師・地域の方が一緒に活動を行うことの重要性を感じた。ヒアリングで要望されていた「打ち解けた場」「コミュニケーションが取れる場」を目指して、第1回・第2回とファシリテーションを心がけた。2回とも参加者それぞれで満足した様子を見ることができ、自分自身も交流を楽しむことができた。また学生がファシリテーションを行うのは簡単ではないと思うが、年齢で見ても中学生と大人をつなぐことには適していると感じた。